

基本目標Ⅴ | 地域資源・都市基盤を活かすまち

21 | 安定した水供給と持続的な下水処理

施策範囲 水道事業・下水道事業



現状と課題

- 恵庭市の水道は、石狩東部広域水道企業団が管理運営する漁川浄水場と千歳川浄水場の2系統からの受水により全てまかっています。
- 安全で良質な水道水を安定的に供給していくため、水源の水質保全に努め、漏水防止による有収率や耐震性の向上をめざし、水道施設の整備・更新を計画的に行う必要があります。
- 公共下水道の計画処理区域(1,865.2ha)は、ほぼ整備済みであり、水洗化率は99.6%となっています。さらに農村区域における合併浄化槽の整備を実施しています。
- 河川への汚濁負担軽減と持続的な下水処理をめざし、合流地区の分流化^{*}や終末処理場の機器更新など下水道施設の長寿命化や耐震化を進めていく必要があります。
- 公営企業として健全な経営基盤の強化と計画的な事業を進めていく必要があります。また、市の防災計画と連携した応急給水対策の整備や組織体制の強化が課題となっています。

基本方針

- 公営企業として人口減少社会を見据えた効率的な事業運営をめざし、経営基盤の強化と利用者へのサービス向上に努めます。
- 災害に強いライフラインをめざし、事故や災害に備えた危機管理体制の強化と上下水道設備の耐震化や長寿命化事業を進めます。
- 安全で良質な水道水源の確保と保全の維持に努めます。下水の適正処理と下水道資源の有効活用に努め、持続可能な循環型社会の構築をめざします。

前期計画の重点施策

- 21-1 人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営
- 21-2 長寿命化事業・耐震化事業・分流化事業等による、既存施設の質の改善、安定的・持続的な上下水道事業の運営

成果指標	数値目標		
	現状(平成26年度末)	目標(平成32年度)	備考
水道水の安定供給に対する満足度(市民アンケート)	91%	➡	
配水管路の耐震適合率	85%	➡	
合流地区分流化整備率	15%	➡	

持続的なまちづくりの取組み

- 水道水の安定供給に向けた、老朽化や施設機器の更新、各種水道施設の整備の検討
- 民間への業務委託の検討や職員の専門知識継承による体制強化も含めた、利用者サービスの充実、安定的な経営継続の組織強化
- 長寿命化計画・耐震化計画等に基づく下水道施設整備事業の継続
- 下水終末処理場と生ごみ・し尿処理施設及び新焼却施設を含めた一体管理運営方法の調査・検討

わたしたちができること

- 上下水道事業や上下水道工事への理解・協力
- 冬期間の水道凍結防止や災害時に備えた飲用水の備蓄
- 下水道の適正使用(油やごみを流さない等)
- 未水洗化の解消

個別計画

恵庭市水道ビジョン / 恵庭市公共下水道事業計画 / 社会資本整備総合計画(下水道) / 恵庭市水道事業経営戦略 / 恵庭市水道事業管路更新計画 / 恵庭市公共下水道長寿命化計画(恵庭下水終末処理場) / 恵庭市公共下水道長寿命化計画(合流地区)

^{*}合流地区の分流化:家庭等雑排水の「汚水」と雨水等の「雨水」を同じ管で流した「合流地区」において、管をそれぞれ分けて流す方式とすること。